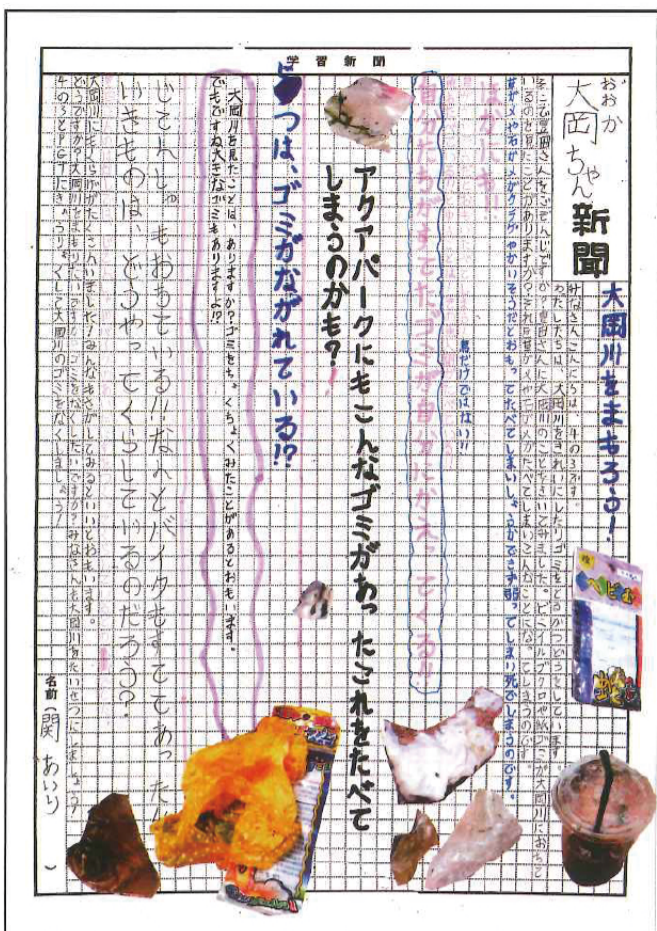


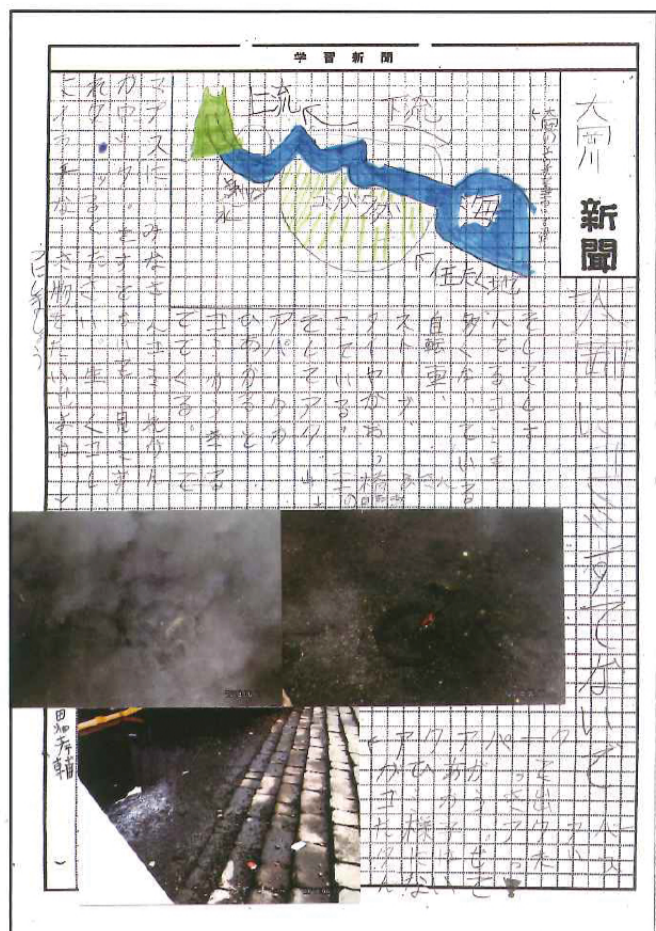
吉村 宥亮さん

下段の「自分の考え」と「外への呼びかけ」が小さくなってしまいました。でも、生き物への愛がよく伝わってきます。イラストがとても分かりやすく、生き物の表情がとても可愛いです。



関 あいりさん

写真の切り抜き使用が斬新で、読みやすい文字で書かれたレポーター調の文面に引きつけられます。紙面を上下2段に分けるなどの工夫がされると、さらに読みやすい新聞になりますね。



田畑 孝輔さん

冒頭に大岡川流域の図が描かれてあったのはこの新聞だけでした。図だけでなく文章も分かりやすく書けるとよかったです。縦書きと横書きは色や文字の大きさを分けるとさらによくなります。

ダイバー200名、ゴミ200kg回収、城ヶ島。

当NPO恒例の城ヶ島でのダイバーによるゴミ拾い(公益財団法人イオン環境財団助成事業)。3年目を迎えたこの事業を9/8(土)、9/9

(日)の両日、城ヶ島ダイビングセンターとの協働で開催しました。

同センターに訪れたダイバーは連日100名。網袋を



一人最低でも一つのゴミをスローガンに、空き缶、釣り具、ペットボトル、プラ容器、レジ袋など、それぞれのチームが網袋を持って潜水し、海底に沈んだゴミを回収してきました。

持って梶ノ浜を潜り、一人最低でも一つのゴミを回収しようとのスローガンのもとに行われました。陸上班も出動して、センターから漁港周辺のゴミを回収。夕方には、ダイビングを終えたダイバーも磯浜に漂着したゴミを回収してきました。

城ヶ島は三浦半島の先端に位置し、東京湾と相模湾双方の潮が行き交います。海洋に流出したペットボトルやレジ袋等プラスチックゴミが大量に潮に乗って漂着します。そのまま放置すれば、マイクロプラスチック化して、さらに海洋のプラス



陸上班の集めたゴミも合わせると、連日ほぼ100kgのゴミを回収。ゴミを全て分別し、ゴミ回収業者に処理していただきました。

チック汚染は進みます。大好きな城ヶ島の海を自分たちで守ろうということで始めた事業ですが、多くのダイバーから共感をいただき、過去2年は1日30人ぐらいの参加、30kgぐらいの回収しかできなかったのが、今年から連日100名参加、回収ゴミ重量も9/8が99.28kg、9/9が102.92kg、2日間で200kgを超えるゴミを回収するまでに。このことは、これだけ海洋のゴミ汚染が着実に進行していることの表れです。

一方、9/30(日)には、当NPOと釣り具メーカー・ダイワ(グローブライド株式会社)と協働で釣り人によるプラスチックゴミ撲滅大作戦(一般財団法人セブンイレブン記念財団助成事業)を計画していましたが、巨大な台風24号来襲により、残念ながら中止

になりました。今後もダイバー、釣り人と力を合わせて、海を綺麗にしていく活動を展開させていただきます。



城ヶ島は三浦半島先端に位置し、東京湾、相模湾双方からプラスチックゴミが潮の流れに乗って漂着します。ペットボトル、プラスチック片、発泡スチロール片、レジ袋など、磯浜に漂着した大量のゴミ。



株式会社 太陽住建
Taiyo Jyukin

0120-460-025 横浜市港区井土ヶ谷下町 6-1
リバーサイドマンション 1階

横濱の老舗



勝烈庵

私たちは地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます



私たちはこの使命を忘れることなく地球環境を見守ってきました。すでに人々は、限りある地球と共生することの大切さをしっかりと認識しています。いつの日か「環境破壊」や「地球温暖化」が過去の言葉となることを願って。これからも私たちは真摯に環境と向き合っています。

私たちは地球のドクター



www.o-smi.co.jp

横濱 一品香



CHINESE KITCHEN

たんめんと中国家庭料理

ジョイナス店・港南台パース店
上大岡ミオカ店・保土ヶ谷店
若葉台店・ららぽーと横浜店
センター南店・イオンモール
座間店・マルシェ町田店

海で出会う愛は 広くて深いんだって。

ヨコハマ 海洋市民大学

